

ウエストナイル熱の啓発用CD-ROMの配布について

平成16年6月11日

社団法人日本獣医師会、社団法人動物園水族館協会、
全国動物管理関係事業所協議会あて
厚生労働省健康局結核感染症課動物由来感染症担当事務連絡

ウエストナイル熱対策については、平素よりご協力いただきありがとうございます。

これまで厚生労働省では、我が国におけるウエストナイル熱対策として、感染症についての知識の啓発（一般向Q&A、専門家向ガイドライン作成）、患者発生動向調査の実施、空港での対応強化（旅行者への情報提供及び帰国時の健康相談）、輸入鳥類の監視強化、ウエストナイルウイルス侵入の早期発見のための野鳥・媒介蚊調査体制の強化等の取り組みを行ってきました。

昨年の米国での感染者は約1万人となり、本年も流行時期を迎えたことから、我が国としてもより一層の警戒が必要であるところです。

今般、米国CDC（Center for Disease Control and Prevention）が制作したウエストナイル熱の啓発のためのCD-ROM（英語版）の日本語吹き替え版が、厚生労働省新興・再興感染症研究事業研究班（注）より提供されたことから、ウエストナイル熱対策の一層の理解に資するため、自治体、関係団体等に配布することしました。貴会におかれましても会員への周知方、よろしく願いいたします。

（注）厚生科学研究費補助金の新興・再興感染症研究事業「節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学及びワクチン開発に関する研究（主任研究官：国立感染症研究所ウイルス第一部 倉根一郎部長）」（分担研究者：国立感染症研究所ウイルス第一部 高崎智彦）」

※同旨の事務連絡は内閣官房安全保障・危機管理室、内閣府総合科学技術会議事務局ライフサイエンス担当、警察庁生活安全局環境課生活経済対策室、防衛庁運用局衛生官、農林水産省消費・安全局衛生管理課、国土交通省大臣官房参事官（危機管理担当）室、環境省自然環境局総務課鳥獣保護管理室、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室、外務省大臣官房領事移住部政策課、各検査所にも発出された。